

# オリーブ通信

2014年  
12月号  
2014.12.20発行  
第158号



<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

毎週オリーブに来ているのに“他の班の事を知らない”という人はいませんか？  
今回は初級班の紹介です。教室に入ってすぐ左側のテーブル、そこが初級班。



初級クラスです。

今、みんなの日本語第7課を勉強しています。フィリピン2人、スイス1人、ブラジル1人の計4人でのんびり勉強しています。

みんな少し恥ずかしがり屋なようですが、最近は慣れてきて、ペアで練習もできるようになりました。それぞれの国のことを教えあったり、誰かが分からない日本語があったら教えてあげたりと、いいチームワークです。

先生以外は英語が話せるので、時々英語で話が盛り上がります。

もしかしたら休憩中がいちばん盛り上がっているかも・・・？

これからは日本語でも盛り上がれるように、勉強を続けていきたいと思います。

(初級班担当 小島裕子)



(初級の授業風景)



## 中川先生のへんてこ日本語

53



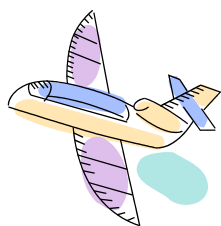
どういたしまして

先日中国へ向かう飛行機の中でこんな日本語に接した。その飛行機は、日本の航空会社のものであったので、多くの客室乗務員は日本人、一人だけ中国人乗務員が乗っていた。その唯一の中国人乗務員、自然な日本語を話していたが、食事を提供してくれたので、「ありがとうございます」と言ったら、「どういたしまして」と返ってきた。けっして間違っていないが、何かしらまじりの悪さを感じた。こんな時、なんと言えればいいか考えながら食事をし、今度はコーヒーを入れてくれたので、「謝謝」と言ってみたら、「不客气」と返ってきた。これには違和感を覚えない(筆者は中国語母語話者ではないのでよく分からない)が、「どういたしまして」は、どうも教科書日本語である。接客場面では、「お熱いので気をつけてお召し上がりください」とか「ごゆっくりお召し上がりください」と言うのが自然だろう。

日本へ帰る飛行機で、今度は日本人乗務員がなんと言うか調べてやろうと思い、同じように「ありがとうございます」と言ってみたら、その返答はなかった。

優秀な日本語学習者、とりわけ海外の学習者は、教科書の日本語を神聖化し、そのまま鵜呑みにしてしまう傾向がある。若い女子留学生から、「では先生、ごきげんよう」と挨拶され、思わず苦笑いしてしまった。

一口に日本語と言っても、さまざまな顔を持つ。今後の日本語教育は、場面にふさわしい日本語を志向すべきであろう。



京都外国語大学

日本語学科教授

中川良雄



12月14日、オリーブの先生・生徒数名で、神戸に行ってきました。朝は栗東の「さくら」でイベントがあるため、16時ごろに三ノ宮駅で待ち合わせ。明るい時間に北野の異人館を見て、暗くなってからルミナリエを見ました。人が多くて、何度か はぐれてしまいましたが、ぎゅうぎゅう押されるほどの混雑でもなく、ゆっくりと見物できました。写真も動画もたくさん撮りましたよ！（納谷久美子）

正直に僕はルミナリエのことを言えなかった。（言葉を失った。）綺麗すぎると思った。あんな大きなランプのデコレーション初めて見た。人が多かった。デモンストレーション見たいと思った。はははっ…写真とビデオしか撮らなかった。これはどうやって作ったの？いつも考えてた。ルミナリエはチャリティーで作ったのが分かった時に僕はびっくりした。すごい!!!ぜんぶ完璧だと思った。ルミナリエに行く前に僕達はレストランを探してあちこち歩いた。疲れた。やっと僕たちはタイのレストランで食事した。<sup>ラギエル</sup> (Ragiel Kusuma Putra)

神戸ルミナリエに行ってよかった。

始まる前に三ノ宮でちょっとブラブラしたり、Live Street Concert を見たり、ニャン子と出会ったりしていました。ルミナリエの場所に行って、Waow...人がいっぱいいるよ。いっぱいですよ、いっぱい（笑）

がまんして頑張って少しずつ歩いていた。けっこう疲れたんですけど、ルミナリエが見えた時はもう忘れませんでした。とてもキレイですよ、ほんとう。写真を撮りながらいろんなルミナリエを見ていた。

いよいよ食べ物探しははじまる。イベントがあるからこそ、いろいろな食べ物を売っている。ケバブとか、から揚げとか、焼きそばとか。

ちょっと気になる食べ物があって、その食べ物は焼きそばです。“他の焼きそばと同じじゃないの？”

“違う”

“じゃ、どっか違うの？”

“値段違うよ。”

“へええ...”

“5百万円だぞ。信じられるか？”（笑）

5百万円だけあって、この焼きそばはおいしいですよ。

他の食べ物もいっぱい食べました。

食べたい食べ物はたくさんあるんですけど、

おなかがいっぱいになって諦めました。終わりです。

さあ帰りましょう。 <sup>メイティ</sup> (Medi A Wahyudi)



オリーブでがんばっている学習者紹介③



（鄭哲峰さん）



私は鄭哲峰といいます。出身は中国の上海です。

今年七月末に仕事の為に日本に来ました。

今、滋賀県草津市に住んでいます。

私はソフトウェアエンジニアとして日本の会社で働いています。

趣味は運動や、ゲームや、音楽など。

毎週、日本語を勉強する為に、オリーブに通っています。

オリーブの皆さんと知り合って、よかったと思います。

12月13日(土)立命館大学の学生2人とコーディネーター4人がオリブ日本語教室に見学、体験に来ました。オリブ日本語教室一日体験をしてどのように感じたかをレポートしていただきました。

以前私が海外に行った時、外国の子供達に簡単な日本語を教える機会があり、日本文化を教える楽しさや難しさを感じました。今回そういった経緯でボランティアに参加することを決意し、実際に教えている現場を見て刺激を受けました。普段何気無く話している母国語を他人に教えることの難しさを改めて感じましたが、先生方はとても上手く、自分自身もそのようになりたいと思いました。今回は短い間でしたが貴重な経験ができたので受け入れてくださった皆さんには感謝しています。個人的にはこれからは日本に来てくれる外国人が楽しんで帰ってくれるよう語学力や外国人とコミュニケーションする能力を向上させ、最高のおもてなしをできるように頑張りたいと思います。短い間でしたがありがとうございました。

(立命館大学 経済学部国際経済学科 4回生 加藤 涼)



(加藤涼さん)



(大久保穂香さん)



ただ今体験中です。

私は、ボランティアという立場で今回初めてオリブさんに参加させていただきました。私は海外に行った経験があまり無かったので、この活動を通して様々な国から来られた生徒のみなさんと交流をすることができ、とても嬉しかったです。また、生徒のみなさんが、日本語の文法や読み書きを細かいところまで一生懸命勉強されている姿を見て、「私も頑張ろう!」と刺激を受けました。さらに、日本の魅力や母国での思い出などたくさんのお話を聞かせていただいたり、一緒に日本語の勉強をしてたくさんのお話を学ぶことができました。この経験で得たものを、これからの学びに活かしていきたいです。オリブのみなさん、ありがとうございました。

(立命館大学 スポーツ健康科学部 3回生 大久保穂香)



今回、オリブで活動をし、外国人に日本語を教えるという特殊なボランティアを経験させていただきました。外国人の方は皆熱心に日本語を勉強し、中には休憩時間にも勉強している人もいました。この活動では、私たちが一方的に教えるのではなく、異国のあいさつの仕方など海外の文化について学びました。教えるというより、「共に学ぶ」ことができたと思います!

(立命館大学サービスマニエーションセンター学生コーディネーター 橋本礼雄)



## 先月の活動(11月)

日本語教室 11/1 (M),8,15,29(4回)  
 オリーブ秋の遠足 11/16 (日)  
 参加人数：先生 13名 生徒 20名  
 まちセン運営協議会 12周年実行委員会 11/6 (木)  
 同上 11/13 (木)  
 まちセン運営協議会 11/20 (木)  
 まちセン施設部会主催落語会出席 11/29 (土)  
 以上 (田中一)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング



## 今月の活動予定(12月)

日本語教室 12/6(M),13,20  
 BNN会議 12/7(日) (佐野)  
 BNNスピーチ会場下見 12/20(土) (小島)  
 草津市市民公益活動団体連協会議 12/5 (金) (恩地)  
 まちセン運営協議会全大会&12周年実行委員会  
 12/16 (火) (田中一)



●( )内は参加者、または参加予定者。敬称略



## お知らせ

滋賀県国際交流推進協議会より下記の講座の案内が届いています。関心のある方は恩地もしくは重松までお問い合わせ下さい。

### “市民活動に活かせる対話型ファシリテーション講座”

○対象者：滋賀県国際交流推進協議会の会員団体関係者・県内市町の多文化共生担当課職員 等

○ねらい：地域の外国人住民や日本人の住民に対し、中立的な立場になってファシリテーター（物事がうまく機能するように調整・促進する人。世話人。）として活躍することが期待される市民団体の関係者や市町自治体職員が、それぞれの地域や団体が抱える課題解決のために必要となる関係者間の対話力（傾聴力、会話力、調整力）や合意形成スキル等を高める。

○主な研修内容

- ・コミュニケーションの基本としての対話術
- ・対話型ワークショップの勘所
- ・ファシリテーションの組み立て 等

○日時：平成27年1月15日(木) 13:30~15:30

受付開始 13:15~

○会場：ピアザ淡海2階 207会議室（大津市におの浜 1-1-20）

○定員：50名

○参加費：無料

○申込み方法：別添申込書に必要事項を記入して、FAXにてお申し込み下さい。

○申込期限：平成27年1月6日(火)まで（\*ただし、定員になり次第、締め切ります。）

○問い合わせ先：滋賀県国際交流推進協議会

事務局：(公財) 滋賀県国際協会

Tel：077-526-0931 Fax：077-510-0601

Email：[horide@s-i-a.or.jp](mailto:horide@s-i-a.or.jp)



## 参加人数(11月)

	11/1	11/8	11/15	11/29
先生	17人	17人	19人	12人
生徒	27人	33人	26人	20人

## 会員の動き(11月)

〈入会〉なし

〈退会・休会〉なし

〈賛助会員〉牧瀬恵子さん

## お知らせ

オリーブにきている4人の青年たちの所属する教会でクリスマス会があります。

日時：12月23日(祝) 17:00~

場所：大津市竜が丘 13-1

## <編集後記>

2014年も残り数日となりました。みんなにとってこの2014年はどんな年だったのでしょうか？悲喜交々…オリーブにとっては20周年という一つの節目の年でもありました。20年の間にオリーブにやってくる外国の人たちの顔ぶれも相当変わってきました。その意味でオリーブは時代を反映しているようにも思えます。

体に気を付けて良いお年をお迎えください。(S.E)



来年は任せるよ！

OK,任せて！

